

ひろば

2007年9月

N0186

<発行>

日立小田原地区

(ひろば)

編集委員会

TEL「気付」

0465(37)4426



人員削減による業績回復策は企業として尊敬されない

メディアに続き
更に人員削減か

人員削減による
業績回復策は
最低

納得いかない
異動には断固
ノーの声を上
げよう

ヘッド製造の柱 ウエハー
(素子)部門、社内開発競争
に敗れサンノゼ(米)での
開発・製造となります。

これにともない関連部門
の大量移動がうわさされて
います。担当部長は「私の
仕事は人を減らすことだ」
とうそぶいているとのこと。

戸塚方面の関連会社、中
央商事、人材開発派遣会社
等が上げられ、1年は出向
その後、転属あるいは新し
い職場を見つけてもらうつ
「片道キップ」であること
が強調されたそうです。

職場では「部長こそ辞め
るべきだ」「安定した職場
だと思っていたのに」と
怒りと、不安の声が広がっ
ています。

創立以来4年連続巨額赤
字に苦しむ日立GSTは07
年なんとしても黒字化をと
共通する事業の集約化と人
件費を含めた固定費の削減
等の「リストラ」に乗り出
しました。

ストレージ事業発祥の地
小田原事業所は主力事業の
ディスクを深センに移管、
その上ウエハーをサンノゼ
に移されれば手足をもちが
れたも同然、長年寝食を忘れ
て関わってきた従業員を片
道キップで追い出すことは
許されません。

会社が掲げるコンプライ
アンス(法令遵守)やCSR
(企業の社会的責任)はどこ
行ってしまったのでしょうか。



会社分割法・労働契約承
継法により日立製作所より
転籍させられわずか4年、
会社分割法は不採算部門の
切り捨てなどに悪用するこ
とを強く戒め、またその条
件を継承し労働者を保護す
るよう定めています。

家族のこと、自分自身の
将来のこと等思いをめぐら
せ、参議院選挙で突きつけ
たパワーで納得のいかない
異動には断固ノーの声を上
げましょう。

三段飛び昇格

最近の休憩所でもっぱらの話題は、9月の人事異動で組長からいきなり部長代理になった方のこと。あるラインの自動化に業界で初めて成功、現場で立ち上げに苦労されたことが評価されたとのこと。「なんであいつが...」「成果を上げれば...ということか」とやっかみも含めにぎやかなこと。成果主義の広告塔か、外資系企業の良さか、はたまた人材不足か...

掲載URL <http://www.hitachikon.net/hiroba>

組合員の意識と乖離 していませんか

今年の労組小田原支部定期大会議案のなかで「経営対策」の総括と方針に「会社の経営方針に協力し組合員の努力で予算を達成した」とあり、組合員の「雇用確保」「安心と働き甲斐のある職場」をめざしてとりくんできたと報告されました。

一方RSD、P-I組立の職場では20年以上のベテラン組合員約10名が昨年4月から、主要なラインから外され、不慣れた製品検査に移動させられました。

その半年後、一年後にも5名、10名のベテラン組合員が移ってきています。移動させられた人達はほとんどが女性正規社員で、残った職場は非正規の派遣、アルバイトの人達が担っています。

移らされた組合員からは「一から仕事を覚えさせられる今の仕事にやる気をなくす」「今後もクルクル職場を変えさせられるのか、不安でしょうがない」などの不安と不満の声が挙がっています。

このような実態を組合執行部は把握しているのか、不安が拡がっている組合員の意識に対し「雇用の確保」「働き甲斐のある職場」を堅持させるためにどのような方向を進めようとしているのかを定期大会に向けた職場集会で問い直しました。

湘南の海

小田原地方に上陸した台風9号は甚大な被害をもたらしました。湘南海岸を走る西湘バイパスが大磯付近で大きく陥没通行不能に、酒匂川に架かる松田町と開

成町をつなぐ十文字橋が落下し通れなくなりました。いずれも小田原事業所や藤沢事業所の通勤に欠かせない道路で、不便を感じておられる方も多いかと思えます。▼出勤したら職場の床が水浸し。早々の床掃除となりました。何より困ったのはマシーンに錆が出たり、貴重な測定器にサビがでたことでした。数日かけ懸命のサビ落としとなりました。思わぬ方向から激しい風雨が吹き込んだものと思われまます。▼7日 台風一過の後にきたのは青空ではなく、安倍首相が突然内閣総理大臣の職を投げ出してしまったことです。「憲法を頂点にした戦後レジームの転換」「美しい国」をスローガンに、改憲のための国民投票法や教育基本法「改正」など強行成立させました。しかし、この路線への反発や、「政治とカネ」等相次ぐ閣僚の不祥事、小泉内閣以来5年にわたる弱肉強食の「構造改革路線」のもとで貧困と格差が拡大して、支持率が急落。参院選で「ノー」の審判を無視して首相のイスにしがみつきましたが、ついに政権を投げ出してしまいました。代表質問の直前の辞任という無責任ぶり、あきれてしまいました。▼それにしても今回の日立GSTのメディアやウエハーの「リストラ」策は、従業員の生活や将来設計、夢や希望を奪うとんでもないものです。納得のいかない事には断固「ノー」を突きつけましょう。これは天災ではなく、人災なのですから。